

## 地理 大阪大学（前期） 1/2

(I)

問 1	難民の発生は、シリア、アフガニスタン、南スーダンなど、国内紛争の激しい国々に集中している。難民は徒歩などで陸路を移動するため、その受入国は発生国と陸続きの隣国に集中し、受入国の大半が発展途上国であるが、一部の難民は、人権を尊重し、受け入れに寛容なドイツなどの先進国にも移動している。(141字)

問 2	旧ユーゴスラビアは連邦国家だったが、各共和国内には多民族がモザイク状に混住していた。社会主義体制が崩壊し連邦構成国が独立する際に民族主義が台頭し、カトリック、正教会、イスラームの宗教の違いを背景にしたボスニア・ヘルツェゴビナの内戦や、ムスリムのアルバニア人が多いコソボのセルビアからの分離独立などの紛争が生じた。(156字)

問 3	民族の定義の一つは同一の言語を使用する人間集団である。近代には一民族が一国家を形成する国民国家の概念が生まれ、それを理想としたが、現実にはほとんどの国が多民族国家である。国家は国民統合を図るため教育を通じて標準語を普及させようとするが、複数の言語が使用される国では、公用語として多数派の言語だけでなく少数派の言語も指定したり、各民族の共通語となる旧宗主国の言語も公用語としたりして、民族間の融和と共存を図ることもある。(209字)

地理 大阪大学（前期） 2/2

(II)

問 1	グリーンランド内陸部には年中低温で氷雪にとざされる氷雪気候，北極海沿岸部には短い夏季のみ氷雪が融解するツンドラ気候が分布し，寒帯が大部分を占めるが，低緯度側の内陸部などには亜寒帯もみられる。20 世紀後半以降は，地球温暖化の影響を受けて，夏季には氷床の融解や北極海の海氷の縮小が進み，生態系などへの影響が憂慮されるほか，永久凍土層の融解によって温室効果ガスであるメタンの放出が進み，温暖化の加速も懸念される。（202 字）

問 2	陸路の利用は非常に少ないが，航空路として冷戦期に西側諸国がソ連上空の迂回路として利用し，その後航続距離の延伸とともにアジアや北米，ヨーロッパを結ぶ最短航空路としての開拓が進んだ。また，近年では夏季の海氷の縮小により，船舶によるユーラシア北岸地域間の貨物輸送や，太平洋と大西洋を結ぶ短絡路として注目されている。（154 字）

問 3	自然条件や輸送コスト面で利用と開発に制約もあるが，戦前から一部で水産資源をはじめ，鉄鉱石，石炭などの開発が行われてきた。戦後は北米や旧ソ連を中心に石油や天然ガスなどの開発が進み，近年は，掘削・輸送技術の向上や原油価格の高騰，温暖化による海氷の縮小などを背景に，ロシアなどで北極海での石油や天然ガスの開発が始まった。（157 字）